

事務事業評価表

○基礎情報

| 課名 | | 企画経営課 | | 作成責任者 | | 常勤職員 | | 常勤職員以外 | | | 時間外勤務時間 | |
|------|----|---------------|--|-------|--|----------------------------|------|----------|------|---------|----------|-------------|
| 施策目標 | 60 | 先を見据えた政策を実現する | | 若林 英俊 | | 管理職 | 左記以外 | 再任用短時間職員 | 臨時職員 | 非常勤嘱託職員 | 総時間 | 一人あたり月平均 |
| | | | | | | 2 人 | 9 人 | 0 人 | 0 人 | 2 人 | 3,530 時間 | 32.7 時間 |
| | | | | | | ※28年度まで行政改革推進室は企画経営課行政改革担当 | | | | | | ※行政改革推進室を除く |

1 施策指標と実績

| 施策指標名 | 第3次実施計画 の現状値 | 目標値 (30年度) | 実績値 | | | |
|--------------------|-----------------|---------------|-------|------|-------|-------|
| | | | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
| 施策評価における各施策目標の達成状況 | 55.3% | 90%以上 | 55.3% | － | 51.6% | 36.5% |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

(評価の見方)

- ・ S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- ・ A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- ・ B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- ・ C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- ・ D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- ・ E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- ・ Z 未着手事業
- ・ 実績 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった
なし

2 事業実績(平成28年度)

| No. | 事務事業名 | 事務事業の目的・目指すべき成果 | 事業の 性質 | 実績 | | | 従事 者数 | 会計 区分 | H28予算 H28決算 (単位:円) | 事務事業の指標名 | H28目標値 | H28実績値 | 評価 | H28 業棚 選定 |
|----------|--|--|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|---|----------------------------|--------|--|----|-----------------|
| | | 何を・誰を(対象)、どうやって働きかけ (手段)、どうしたいか(生まれる成果) | | 業務 計画 | 広域 連携 | 行革 重点 | | | | | | | | |
| 1 | 地方版総合戦略の 進行管理事務 | 持続可能な人口構成への転換を図 るため、リーディング・プロジェクトを 中心とした各事業の着実な進行管 理を図る。 | 政策的事業 | | | | 0.51 | 一般 | 158,000 ----- 50,000 | 重要業績評価指標の達成 率 | 30.0% | 46.4% | S | |
| 2 | 総合計画・実施計画 の進行管理・策定事 務 | 市が掲げる将来の都市像を目指す ため、行政評価を実施し、総合計画 の着実な進行管理を図る。 | 政策的事業 | ● | | | 2.52 | 一般 | 1,283,000 ----- 669,530 | 業務棚卸評価においてA評 価となった事業の割合 | 85%以上 | 74.6% (業務棚卸評価の実施方法が変更となっ たため、事務事業評価におけるS評価の 事業の割合を計上) | S | |
| 3 | 政策コンテスト開催 事業 | 若者を対象に、自ら茅ヶ崎市の未来 を政策し、予算を立案することで、市 政への関心を高める。 | 政策的事業 | | | | 0.45 | 一般 | 0 ----- 0 | 参加グループ数 | 10グループ | 5グループ | C | |
| 4 4-2 | セカンドライフのプ ラットフォーム(高齢 期における社会参加 の仕組みづくり) | シニアを対象に「セカンドライフセミ ナー」の実施や「生涯現役応援窓 口」の運営を行うことで、社会参加の 促進を促し、健康寿命の延伸と地域 活性化を図る。 | 政策的事業 | ● | | | 0.71 | 一般 繰越 | 6,728,000 ----- 4,716,198 ----- 8,937,000 ----- 5,532,277 | 社会参加のマッチング件数 | 120件/年 | 115件/年 | S | |
| 5 | 健康増進と虚弱化予 防のための事業 | シニアを対象に自身の健康状態の 気づきの場としてフレイルチェックを 実施し、生活改善を促し、健康寿命 の延伸と社会保障費の抑制を図る。 | 政策的事業 | | | | 0.66 | 一般 | 388,000 ----- 267,802 | フレイルチェック参加者数 | 400人 | 359人 | S | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---------------------|--|----------|---|--|------|------|----------------|--------------------|------------------|----------------------|--------------------------------|---|---|
| 6 | 多世代共生住宅等拠点整備事業 | 子育て世代やシニアを対象にライフステージに応じた住み替えを提案するなどして、多世代共生による住み続けられるまちづくりを推進する。 | 政策的事業 | ● | | | 0.86 | 一般 | 0 0 | 事業進捗状況 | (仮称)雇用促進住宅利活用基本方針の策定 | 庁内外における調整・協議 | A | |
| 7 | 長寿社会のイメージづくりワークショップ | 長寿社会における地域の変化や課題を共有し、ニーズを捉えた地域活動や地域での担い手の創出につなげる。 | 政策的事業 | | | 0.56 | 一般 | 10,000 0 | ワークショップの実施地区数(累計) | 2地区 | 0地区 | | Z | |
| 7-2 | | | | | | | 繰越 | 1,522,000 0 | | | | | | |
| 8 | 豊かな長寿社会コンソーシアム運営事業 | 超高齢社会に対応したまちづくりを推進するため、産学官民の連携や庁内連携を強化し、豊かな長寿社会の実現を図る。 | 政策的事業 | | | | 0.56 | 一般 | 165,000 164,280 | 全体会議／庁内横断会議の開催回数 | 2回／4回 | 0回/3回 | C | |
| 9 | 議会調整事務 | 議員からの通告書を確認し、的確に答弁書を作成する必要があることから、部局が作成した答弁書について、理事者との確認・協議を行うため、議会調整会議を開催し、各施策や事務事業との整合を図る。 | 定例・定型的事業 | | | | 1.02 | 一般 | 0 0 | 議会調整会議開催回数 | 12回 (4回×3日) | 15回 | S | |
| 10 | 業務計画事務 | 成果を重視した有効性の高い行政運営を目指すため、部課の重点事業を明確にし、計画的に事業を遂行する。 | 定例・定型的事業 | | | | 0.92 | 一般 | 0 0 | 情報交換会の開催 | 2回 | 2回 | S | |
| 11 | 施政方針作成事務 | 翌年度の市の重要施策を掲げた施策方針を作成し、市民への説明責任を果たし情報共有を図る。 | 定例・定型的事業 | | | | 0.57 | 一般 | 0 0 | 施政方針作成回数 | 年1回 | 1回 | S | |
| 12 | 審議会等の運営に関する事務 | 附属機関及び懇談会等の適切な運営を行うため、要綱や具体的な手続きに関する必要事項を整理する。 | 定例・定型的事業 | | | | 0.61 | 一般 | 0 0 | 庁内照会回数 | 1回 | 照会 1回 関係課ヒアリング 1回 | S | |
| 13 | 政策的な調整に関する事務 | 政策的課題について庁内の連携を図り、的確に事業の方向性を調整する。 | 定例・定型的事業 | | | | 0.91 | 一般 | 0 0 | 適正処理率(実績件数) | 100% | 100% | S | |
| 14 | 庁議事務 | 方針や施策について、庁内各部による多角的な視点での検討が必要なことから、理事者や各部局により審議を行う政策会議・政策調整会議の実施し、重要な施策等の検討及び決定を行う。 | 定例・定型的事業 | | | | 1.43 | 一般 | 0 0 | 政策会議・政策調整会議会議開催数 | 48回 | 49回 | S | |
| 15 | ライフタウン市境問題事務 | 市境問題の早期解決を図るため、湘南ライフタウン住民及び藤沢市との協議を進める | 定例・定型的事業 | | | | 0.28 | 一般 | 0 0 | 公共施設等の利用案内の発行 | 年1回 | 1回 | S | |
| 16 | 構造改革特別区域の提案・申請事務 | 地域の活性化に資するため、構造改革特区の提案・申請に係る検討調整を行う。 | 定例・定型的事業 | | | | 0.19 | 一般 | 0 0 | 照会回数 | 3回 | 3回 | S | |
| 17 | 市民意識調査等に関する事務 | 市政アンケートや市民満足度調査、市政モニターアンケートを実施し、市民の意見を把握する。 | 定例・定型的事業 | | | | 0.38 | 一般 | 0 0 | アンケートの回収率 | 70% | アンケートは29年度に実施 対話集会等に係る調整は実施 | Z | ● |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|----|--------|---|----------|--|--|--|-------|----------------|--------------------------------------|---|---|---|--|--|
| 18 | 災害応急活動 | - | 定例・定型的事業 | | | | 0.02 | 一般 | 0 ----- 0 | - | - | - | | |
| 19 | 庁内共通事務 | - | 定例・定型的事業 | | | | 0.46 | 一般 | 4,655,797 ----- 1,912,796 | - | - | - | | |
| 20 | 部内調整事務 | - | 定例・定型的事業 | | | | 0.20 | 一般 | 0 ----- 0 | - | - | - | | |
| 合計 | | | | | | | 13.83 | 予算 決算 繰越 | 13,387,797 7,780,606 5,532,277 | | | | | |

3 実施計画事業の総括評価

| 人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析 | |
|---|--|
| <p>企画経営課の平成28年度における事業数は20事業であり、「災害応急対策活動」「庁内共通事務」「部内共通事務」を除くと17事業である。</p> <p>これらの事業のうち評価結果は、「S」12事業、「A」1事業、「C」2事業、「Z」2事業となっており、概ね成果があがった、または今後成果が見込めるものとなっている。</p> <p>まち・ひと・しごと創生総合戦略については、平成28年度は計画初年度であり、基本目標や重要業績評価指標（KPI）の達成に向け、事業を推進したところである。各事業により進捗状況に差異はあるが、おおむね成果はあがっていると考えており、特にリーディング・プロジェクトは今後も庁内連携の強化を図り取り組みを進める。</p> <p>総合計画・実施計画については、実績値（事務事業評価におけるS評価の割合）は現在集計中であるが、各部局の理事者ヒアリング前の事務事業評価の結果の状況を踏まえると堅調に進行しているものと評価している。また、28年度は第4次実施計画の策定に向けた作業として、様式の検討や課題の整理などをおこなった。</p> <p>豊かな長寿社会に向けたまちづくりへの取り組みについては、「セカンドライフのプラットフォーム」や「健康増進と虚弱化予防のための事業」を中心に、シニアを対象とした活躍の場の創出やいつまでも健康で生活を送るための自身の健康への気づきの場の創出などを行った。様々な媒体を活用し広報活動をおこなったことで、徐々にではあるが本取り組みが浸透してきたものと考えている。今後は、民間活力を活かしながら、超高齢社会に即したまちづくりの取り組みを進めていきたい。</p> <p>職員の時間外勤務については、総時間3,530時間、1人当たりの月平均32.7時間となり、第3次実施計画の策定年度であった昨年度に比べ約45％減となった。引き続き「働き方の見直し」を行う中で、業務の効率化や合理化を図りながらも業務の質的向上を目指す。</p> | |

4 平成28年度業務棚卸評価における改善の取組結果

| No. | 事務事業名 | 取り組みの結果 |
|-----|---------------|---|
| 17 | 市民意識調査等に関する事務 | 当該事務のうち、市政モニター制度については、見直しを行い、他の手法で代替できるなどの理由から29年度以降の募集を行わないこととした。廃止とする過程では必要に応じて市政モニター登録者に説明を行い理解を促した。 |

5 新たな行政改革重点推進事業（本項目に記載した場合、別途行革重点推進事業管理表を作成していただきます）

| No. | 事務事業名 | 重点事項名 | 取り組みの概要 |
|-----|-------|-------|---------|
| 1 | 該当なし | - | - |